12月定例町議会【町長事務報告】

12月12日から20日まで、12月定例町議会が開催されました。提出議案は、平成19年度各会計の補正予算案についてが3件、条例の一部改正についてが2件、財産の取得についてが1件、教育委員会委員の任命につき同意を求めることについてが1件、監査委員の選任につき同意を求めることについてが1件の計8議案で、すべて原案どおり可決されました。

町職員が、12月3日に公電磁的記録不正作出罪および同供用罪容疑で逮捕されるという不祥事が発生いたしました。議員の皆様をはじめ町民の皆様方の信頼を失うような行為であり、誠に申し訳なく、心からお詫びを申し上げます。そして、事件に巻き込まれました関係町民の皆様に対しましても、深くお詫びを申し上げます。

昨年の汚職事件に続き、公務員として、あってはならない事として、この事実を真摯(しんし)に受け止め、事件の発生を確認した時点から、公金の取り扱いについては、改善策を講じてきたところです。

今後、資金管理と再発防止に万全を図っていきます。

財政

平成19年度の収支見通しについては、町税など財源確保に努めるとともに、基金繰入額の縮小を図るべく、健全財政の維持に向けて鋭意努力しているところです。

新年度予算の編成については、引き続き行財政改革を徹底して行い、効率的な行政運営を推進するために事務事業の選択と集中を基本に歳出削減に努めながら予算編成に取り組んでいきます。

企画政策

市町村合併関係については、9月16日から10月13日にかけて、大網、山辺、瑞穂、増穂、白里の各地区区長懇談会で、県が策定した市町村合併構想を基に、区長・役員の方々と意見交換を行いました。

11月17日には、大網白里アリーナで、東金市・大網白里町・九十九里町地域づくりシンポジウムが開催され、400人近い方々の参加がありました。今後も住民の方々と話し合う機会を作っていきます。

▶合併についての意見を交わすパネラー

◀観客を魅了した尺八とギターの演奏

大網白里の四季コンサートについては、町内外から来場いただいた750人の方々が尺八とギターの音色を堪能されました。今回のコンサートの特徴は、大網白里ブランド振興コンサート実行委員会が立ち上げられ、商工会を始め、観光協会、文化協会、区長会、PTA、子ども会などの各団体のほか、住民の方々がボランティアで運営にあたり、住民と行政の相互協力により初めて実現しました。

町民アンケート調査については、平成18年度からスタートした後期5カ年実施計画の見直しの基礎資料として、住民ニーズの変化、各種施策に対する重要度や満足度を把握するために、町民3，000人を対象としたアンケート調査を平成19年7月から8月にかけて実施し、概要がまとまりました。重要度と満足度からニーズを分析すると、大網駅周辺の整備、救急体制、商工業の振興を最も必要としていることが伺えました。

今後は、調査結果を踏まえ、住民ニーズへ適切に対応し、住民満足度の向上に取り組んでいきます。

防災

地域の方々を中心として津波ハザードマップ作成を通じ、津波に対する意識向上と普段からの心構えと備えを高めようと、県、本町および九十九里町の共同で、津波ハザードマップ作成ワークショップを開催しました。また、専門家の助言を得ながら津波避難対象地域、避難場所、避難経路などを書き込んだ地図を作成しました。

このハザードマップを有効利用し、安全な暮らしを確保するとともに、災害に強いまちづくりに向け、今後とも努力していきます。

産業文化祭

産業の部については、駐車スペースの拡充と会場整備に努め、10月20日にみどりが丘広場で開催しました。

朝市組合や青空市による地場産品の販売、姉妹町中之条町からの特産品の販売、町内各種団体の展示即売、またステージイベントとして、中学生による吹奏楽演奏と町内チームによるよさこいソーランの演舞と和太鼓の演奏で祭りに華を添え、約12，000人の来場者で賑わいました。

文化の部については、初めての試みとして、11月3日・4日に大網白里アリーナで、郷土芸能発表会を同時開催しました。公民館活動の各教室、同好会、地域で活動されている方々が展示部門とステージ部門に分かれ、日ごろの成果を披露しました。

開催期間中は、延べ1，400人の方々が来場されました。

▲買い物客でにぎわう産業の部

▶一堂に作品が並ぶ展示部門

学校施設整備

白里小学校給食調理室改築工事の進ちょく状況については、現在、く体工事を終了し、屋根防水および外壁工事を進め、平成20年2月末の完成を目指して順調に進んでいます。

大網中学校教室棟耐震構造改修工事（1期工事）については、平成19年12月に無事終了しました。

耐震改修については、引き続き、重要案件として位置付け取り組んでいきます。

栄養士だより㊾

毎月19日は食育の日

食べることは生活の基本です。食生活が乱れがちな人が多い現状を見直すために、食育を推進する運動が全国的に広がっています。

子どもにとって、何をどのように食べて育つかは、勉強や運動と同じように幼いころからとても重要なことです。

食育は改めて取り組むものではなく、毎日の家庭の食卓から自然に行っていくものです。子どものころに身に付いた食習慣は、一生の食生活に影響するといっても過言ではありません。

まず、1日1回は家族そろって食事をしましょう。その利点として、①家族のコミュニケーションの場になる、②規則正しい食習慣が身に付く、③食品の旬・はしの使い方・配膳の仕方などの食文化を覚えられる、④偏食や生活習慣病の予防に役立つ等があげられます。

大人は、子どもたちのお手本になるような食生活をいつも心掛けるようにしましょう。

1年の初めにあたり、健康で過ごせるように毎日の食事を振り返ってみてはいかがでしょうか。

▲町食生活改善協議会による食育普及活動の様子

問健康介護課健康指導班　☎（72）8321

保健師だより

身近に潜むメタボリックシンドローム

おいしいものを食べたり、お酒を飲む機会が増えるお正月ですが食べ過ぎたり、飲み過ぎたりしていませんか。

今月は、メタボリックシンドロームについてお話します。

内臓脂肪蓄積・高血圧・コレステロールや中性脂肪の高値・高血糖などの危険因子が重なった状態を「メタボリックシンドローム」といいます。危険因子が重なると、糖尿病や高脂血症、高血圧症などの生活習慣病を引き起こします。生活習慣病は、心筋梗塞(こうそく)や脳卒中などの合併症の原因となり、場合によっては死につながることもあります。

〈メタボリックシンドロームの診断基準〉

腹囲に該当し、さらに①～③の2項目以上に該当する方はメタボリックシンドロームと診断されます。

◎腹囲＝男性　85cm以上
　　女性　90cm以上

① 次のいずれかに該当
・中性脂肪＝150mg/dl以上
・HDLコレステロール＝40mg/dl未満

② 次のいずれかに該当
・最高血圧130mmHg以上
・最低血圧85mmHg以上

③ 空腹時血糖110mg/dl以上

メタボリックシンドロームになると、糖尿病の発症するリスクは通常の約9倍、心筋梗塞や脳卒中を発症するリスクは約3倍にもなります。

メタボリックシンドロームは、高カロリー食、高脂肪食のとり過ぎと運動不足や不規則な生活が原因です。日ごろから規則正しい食事と適切なカロリー摂取を心掛け、こまめに体を動かすようにし、2008年も元気に過ごしましょう。

問健康介護課健康指導班　☎（72）8321